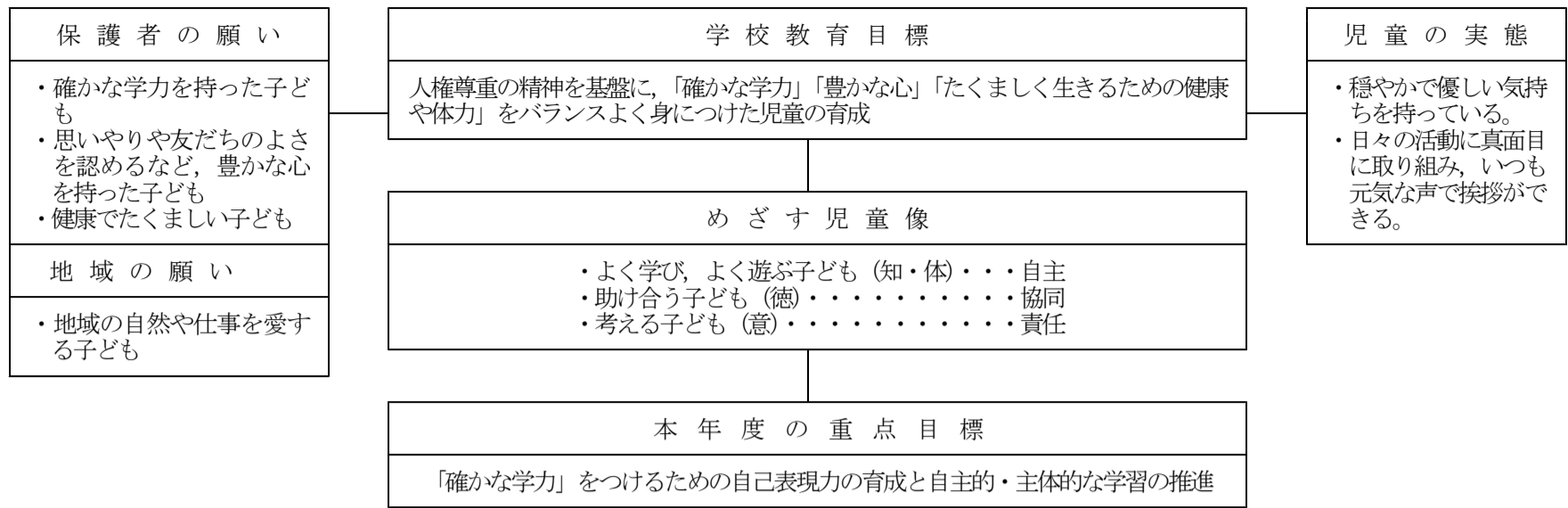


キャリア教育全体計画（阿南市立椿小学校）



キャリア教育で目指す児童像
身のまわりの仕事や環境への関心・意欲の向上を図るとともに、勤労を重んじ目標に向かって努力する態度の育成

キャリア教育で身に付けさせたい資質・能力（基礎的・汎用的能力）			
人間関係・社会形成能力	自己理解・自己管理能力	課題対応能力	キャリアプランニング能力
かかわる力	みつめる力	すすむ力	えがく力
<ul style="list-style-type: none"> 「ありがとう」「ごめんなさい」を素直に言え、自分の考えや思いをみんなの前で話すことができる。 自分の意見や気持ちをわかりやすく表現でき、友達と協力して学習や活動に取り組む。 異年齢集団の活動に進んで参加し、役割と責任を果たそうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校で「してよいこと」と「悪いこと」が分かる。 自分のやりたいことと、よいと思うことなどを考え、進んで取り組む。 自分なりに根拠を持って自己決定し、行動することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分がやらなければならない勉強や仕事を、しっかりと行おうとする。 自分の仕事に対して責任を感じ、最後までやり通そうとする。 将来の夢や希望を持ち、実現を目指して努力しようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> 家の手伝いや割り当てられた仕事の必要性が分かる。 いろいろな職業や生き方があることが分かる。 身近な産業・職業の様子やその変化が分かる。

各学年におけるキャリア教育の重点目標		
低学年（１・２年）	中学年（３・４年）	高学年（５・６年）
<ul style="list-style-type: none"> 「ありがとう」「ごめんなさい」を素直に言え、自分の考えや思いをみんなの前で話すことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の仕事に対して責任を感じ、最後までやり通そうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> 学んだり体験したことと、生活や職業との関連を考えることができる。

「キャリア・パスポート」を活用する取組
<ul style="list-style-type: none"> 学年初め、前期、後期、学年末に見通しと振り返りを行う。 児童が記載した内容をもとに、各学年における重点目標が適切かどうか検証する。

各学年で進めるキャリア教育	
国語	話すこと、書くこと、読むことなどの言語活動を通して、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、心情を豊かにし、言語文化への関心を高め、国語を尊重し、その向上を図る態度を育てる。
社会	地域の人々の生産や販売、我が国の産業について調査・見学や資料を活用した調べ学習を行う。
算数	事象を筋道を立てて考え表現する能力を育てるとともに、数学的な考えをもとに工夫して生活し、学習する態度を育てる。
理科	自然の事象や現象に関心を持ち、目的意識を持って、観察・実験を行い、生命を尊重する態度を育てる。
生活	係や当番活動に積極的に関わり、働くことへの楽しさが分かる。
音楽	音楽活動を通して生活を豊かにし、生涯にわたって音楽に親しむ態度を育てる。
図画工作	造形する心情を育てるとともに表現と干渉の能力を伸ばし、芸術文化についての理解を深める。
家庭	家族・家庭の中で互いの役割や役割分担の必要性が分かり、日常の生活や学習と将来の生き方との関係に気付く。
体育	生涯にわたって運動に親しむ能力を育てるとともに、進んで運動に関わり、明るく豊かな生活を行うことができる。
外国語（外国語活動）	日本と世界との言語や文化の比較を通して、多様なものの見方や考え方があることを実感できるような体験的なコミュニケーション活動を展開する。

総合的な学習の時間におけるキャリア教育
<ul style="list-style-type: none"> 探求的な活動を通して、暮らしや生き方を学ぶ機会を設ける。 体験活動を取り入れ、地域社会にかかわる喜びやものづくりの楽しさを実感できるようにする。

特別活動におけるキャリア教育
<ul style="list-style-type: none"> 協力し合える人間関係を築く態度を育てる。 自発的な活動への欲求の高まりを活かす。 異年齢集団の活動に進んで参加し、役割を果たそうとする態度を育てる。

「特別の教科 道徳」におけるキャリア教育
<ul style="list-style-type: none"> 約束やきまりを守り、やらなければならないことをしっかり行えるようにする。 助け合う体験を大切にした学習プログラムを開発する。 自己肯定感や希望を持てる心を育てる。